

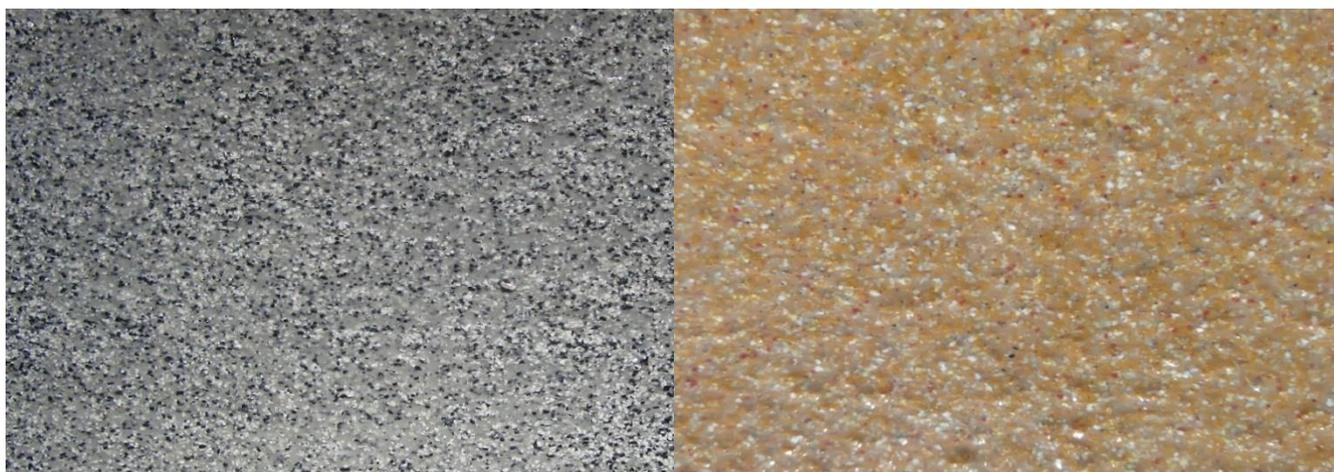
キュートFRPシステム

FRPライニング防水工法

## 石目調トップコート

(特殊ポリエステル樹脂塗料)

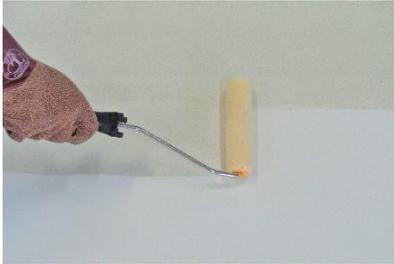
石目調トップコートは、通常のFRPトップコートに自然な石目調の風合いを醸し出しました。外観に**石目調の雰囲気**を持たせ美しく保つと共に、優れた**耐候性・耐水性**を付与する製品です。(住宅ベランダ、バルコニーなど)



九州塗料工業株式会社

# FP-100工法に石目調トップコートを使用する場合の施工手順

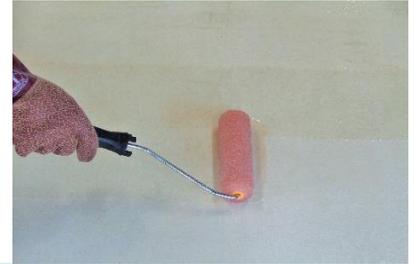
1. 下地調整・清掃点検・含水率測定（直流電気抵抗式モルタル水分計）・外R面取り



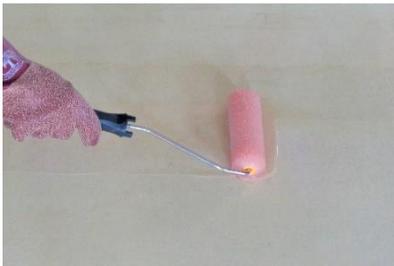
2. ハ イニシヤラー #100 塗布



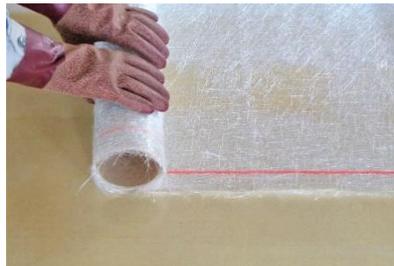
⇒ PC-640FXT に硬化剤混合攪拌



⇒ 3. PC-640FXT 塗布（下塗）



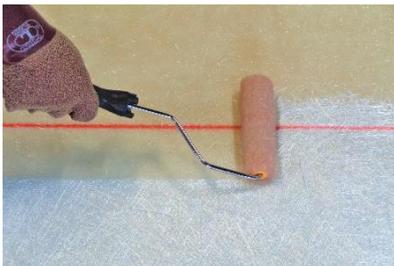
4. PC-640FXT 塗布（ライニング）



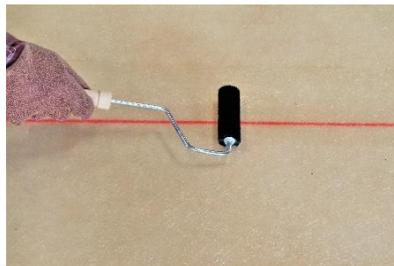
⇒ ガラスマット #450 敷設



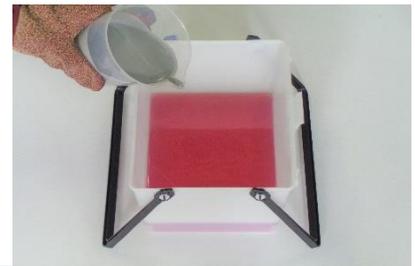
⇒ ガラスマット重ね代 50 mm以上の処理



PC-640FXT 塗布・含浸



⇒ 脱泡作業



⇒ 5. PC-640FXT にポリ着色剤添加



## 中塗

着色（約 10%）PC-640FXT に硬化剤を添加・攪拌後、塗布



## 6. 珪砂散布

中塗後、直ちに珪砂 5 号を散布（散布量 50～100g/m<sup>2</sup>）  
※刷毛ローラーを回転し易くする為



## 7. 上塗

石目調トップコートに硬化剤を添加・攪拌後、塗布  
（塗布量 400～600g/m<sup>2</sup>）



⇒ 施工完了

### 中塗に添加するポリ着色剤表（\*印 受注生産品）

石目調トップコート	ポリ着色剤
ライトグレー *	Q81039 グレー
ダークグレー *	Q81039 グレー
グリーン *	Q60779 モスグリーン
ベージュ *	石目用ベージュ *
ブラウン *	石目用ブラウン *

## 工程表

工程	内 訳	商 品 名	塗布量 kg/m <sup>2</sup>
1. 下地調整 (コンクリート・ モルタル・合板)	① 浮陸部調整 ② 清掃・洗浄・乾燥 (含水率 9%以下)		
2. プライマー	① 一液ウレタン樹脂塗料塗布	パイオニヤシーラー#100	0.3
不陸調整	① クラック・欠け・凹部処理	QコートパテE	
3. 下塗	① 弾性ポリエステル樹脂塗布	ポリキュート PC-640FXT	0.8
4. ライニング	① 弾性ポリエステル樹脂塗布	ポリキュート PC-640FXT	0.6
	② ガラスマット敷設	ガラスマット#450	0.45
	③ 弾性ポリエステル樹脂塗布	ポリキュート PC-640FXT	0.6
点検・補修	① 浮き・膨れの発生した FRP ライニング層は カッター、ディスクサンダー等で切り取り 4. の工程で部分補修する		
5. 中塗	① 弾性ポリエステル樹脂塗布 (着色)	ポリキュート PC-640FXT +ポリ着色剤	0.5
6. 珪砂散布	① 中塗後、直ちに珪砂 5 号を均一に散布し、 硬化させる。	珪砂 5 号	0.05~0.1
7. 上塗	① 特殊ポリエステル樹脂塗料塗布	石目調トップコート	0.4~0.6

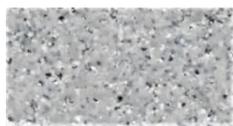
※下地処理：モルタルは、金ゴテ平滑仕上げを標準とし、十分に乾燥 (含水率 9%以下) させます。

※角処理：外Rは、6R以上に、内Rは、10R以上に処理して下さい。

※排水勾配：勾配は、1/100以上とし、水が溜まることなく速やかに排水出来る様にして下さい。

※上塗：石目調トップコートは、ご使用前に十分に攪拌して、左右均一に斑なく塗布して下さい。

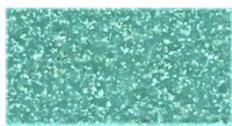
## 石目調トップコートのカラーバリエーション



ライトグレー



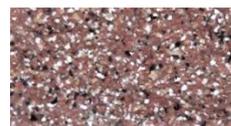
ダークグレー



グリーン



ベージュ



ブラウン

☆この色見本は、印刷のため、実際の色と異なります。

\*石目調トップコートは、防火工法 (FP-DR1 防火工法・FP-DR2 防火工法)、防火断熱工法 (FP-DR10 防火断熱工法・FP-DR20 防火断熱工法) に使用可能です。  
国土交通大臣認定仕様 (飛び火試験合格)

## 施工上の注意

### ●施工時の気象条件

気温が5℃未満の時は施工しないで下さい。降雨、降雪、強風又は高温多湿の時は施工しないで下さい。

気温・施工面温度に適した季節タイプを使用して下さい。

硬化剤の添加量は、気温や季節タイプで異なりますので、製品毎の技術資料（TSDS）をご参照下さい。

### ●下地の条件

不陸、巣穴、凸凹等は、QコートパテE、カチオンフィラー等で下地処理を行って下さい。

野地板、補強材は千鳥張りとし、躯体が動かないように固定して下さい。\*防水層の破断の原因

下地は十分乾燥（含水率9%以下）させて下さい。\*新設コンクリートの養生期間目安30日～45日です。

表面のホコリ・油等は清掃し除去して下さい。\*新設コンクリートの場合は、表面レイトランスを除去して下さい。

### ●プライマー（パイオニヤシーラー#100）

高温（30℃以上）高湿度（80%以上）で使用の際は3時間以内に次の工程へ進んで下さい。

プライマー塗布後、2～24時間以内に次の工程（乾燥確認）へ進んで下さい。\*密着不良の原因

プライマー塗布後、24時間以上経過、または降雨になった場合、サンドペーパー等で研磨後、再度塗布して下さい。

\*プライマーには、別品番パイオニヤシーラー#150も使用可能です。

### ●下塗、FRPライニング、中塗

PC-640FXTは、季節に応じた適切なものを使用して下さい。（S：夏用、M：春秋用、W：冬用）

硬化剤は、気温に合わせて規定量添加して下さい。\*添加量は、技術資料（TSDS）をご参照下さい。

FRPライニングの性能は、不飽和ポリエステル樹脂のガラスマットへの含浸、脱泡及び完全な硬化で発揮されます。

FRPライニングのガラスマットのラップは、50mm以上重ねて下さい。

施工間隔が2日以上あいた場合は、サンドペーパー等で研磨して次の工程へ進んで下さい。\*密着不良の原因

\*下塗・FRPライニング・中塗用の樹脂には、別品番ポリキュートP-2・ポリキュートPC-660FXTも使用可能です。

### ●上塗

石目調トップコートは、季節に応じた適切なものを使用して下さい。（SS：真夏用、S：夏用、M：春秋用、W：冬用）

硬化剤は、気温に合わせて規定量を添加して下さい。\*添加量は、技術資料（TSDS）をご参照下さい。

標準量を均一に塗布して下さい。\*クラック・白化現象の原因

夏場の路面温度（50℃以上）が高い場合は、その時間帯の施工は避けて下さい。\*白化現象の原因

\*大面積の場合、塗り方によっては、塗り斑に見える事があります。

\*取り扱いの注意は、キュートFPシステムのカatalogをご参照下さい

\*塗り替えの場合は、ご相談下さい。

## 製品の種類と荷姿

商品名	液型	内容	荷姿
パイオニヤシーラー #100	1	一液ウレタン樹脂塗料	14kg, 3.5kg
QコートパテE	2	ポリエステル樹脂パテ(硬化剤使用)	19kg, 4kg
ポリキュート PC-640FXT	2	弾性ポリエステル樹脂(硬化剤使用)	20kg
ポリ着色剤 Q81039グレー	—	ポリキュート樹脂専用着色顔料	4kg, 1kg
ポリ着色剤 Q60779モスグリーン	—	ポリキュート樹脂専用着色顔料	4kg, 1kg
ポリ着色剤 石目用ベージュ *	—	ポリキュート樹脂専用着色顔料	4kg
ポリ着色剤 石目用ブラウン *	—	ポリキュート樹脂専用着色顔料	4kg
石目調トップコート(各色) *	2	特殊ポリエステル樹脂塗料(硬化剤使用)	18kg, 4kg
加メック M、パ-メック N、メッ ックス 55 (各メーカー)	—	MEKPO 55%溶液(硬化剤)標準タイプ	5kg, 1kg(ケース)
防水用ガラスマット#380・#450(各メーカー)	—	チョップド・ストランド・マット(補強材)	30kg

\*印 受注生産品



九州塗料工業株式会社

本社 / 〒831-0016 福岡県大川市酒見38  
TEL0944-86-5141 (代) FAX0944-87-6078  
大木工場 / 〒830-0405 福岡県三潁郡大木町横溝124  
TEL0944-33-0333 (代) FAX0944-33-0335

取扱代理店